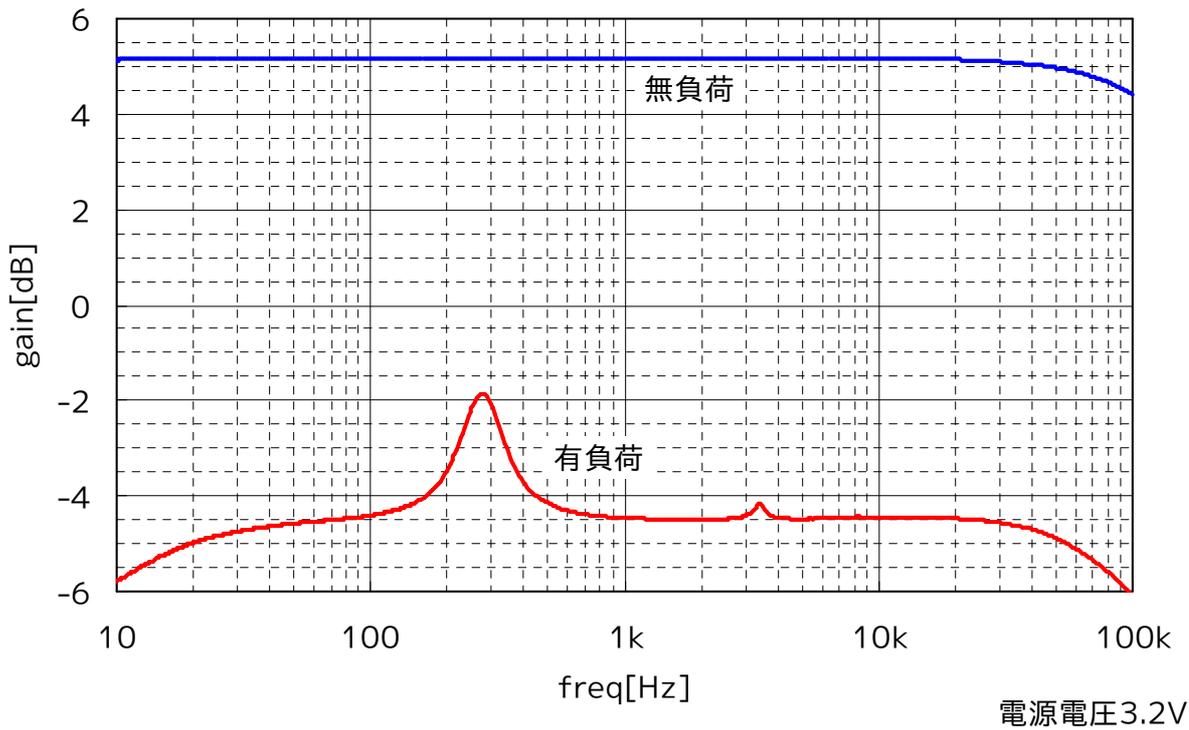


# Asagi 謹製アンプの特性評価

## [実験結果]

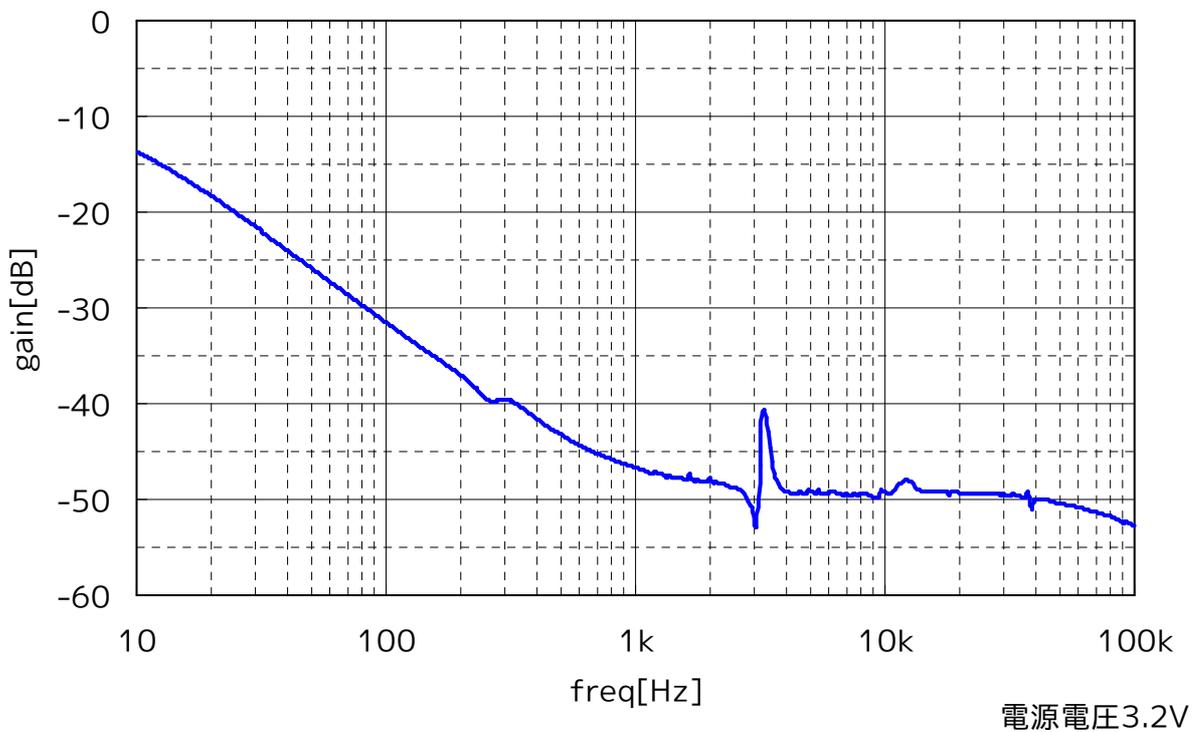
電圧ゲイン

負荷:クリエイティブ製イヤホン、印加電圧電圧 100mVop



## L-R 間チャンネルセパレーション

負荷:クリエイティブ製イヤホン、印加電圧 100mVop、片チャンネル GND 短絡



## [結論]

電圧ゲインについて。無負荷では電圧ゲインがあるものの、イヤホン負荷をつけると電圧ゲインが負になってしまう。これはアンプに対し負荷が重いことを示している。解決法としては 74HCU04 をパラレルにすることが考えられる。

チャンネルセパレーションについて。低周波では GND を通して L・R チャンネルが結合してしまっている。低周波領域の傾きはカップリングコンデンサにより 20dB/deg を示していることから明らかである。回路構成によるものである。